

週報

令和 7 年 1 月 10 日
2024ー2025年度 No.18

2024-25年度 国際ロータリーのテーマ



国際ロータリー会長
ステファニーA.アーチック



プログラム

S A A 西上裕一郎君

☆ 点 鐘

☆ 国歌斉唱「君が代」

☆ ロータリーソング斉唱

「奉仕の理想」

☆ 四つのテスト唱和 職業奉仕委員会

☆ 誕 生 祝

☆ 食 事 懇 談

☆ 会長の時間

☆ 幹 事 報 告

☆ 委員会報告

①親睦委員会

・スマイルボックス報告

☆ 部 内 卓 話

「職業奉仕月間卓話」

張本 民雄君

☆ 点 鐘

現 在 会 員						前々回の欠席者 (12/13)							
3 0 名						11 名							
本 日	出席	1 6 名	欠席	1 2 名		免除(a)欠席	2 名	出席率	5 7 . 1 4 %				
						免除(b)欠席	0 名						
前 々 回	出席	1 3 名	MU	3 名		免除(a)MU	2 名	修 正 率	5 9 . 2 6 %				
						免除(b)MU	1 名						
月 別 出席率%		7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6
		本年度 78.04	71.13	69.88	65.22	57.70	64.55						
		前年度	77.26	83.66	87.66	84.78	89.40	90.22	92.55	95.45	88.38	88.46	89.64
													75.41

例会場
例 会
事務所
カンパーナホテル TEL(0959)72-8111
金曜日(12時30分～13時30分)
長崎県五島市末広町8-4
福江商工会議所内 TEL(0959)72-3108

会 長 片 山 雅 文
副 会 長 柳 田 靖 夫
幹 事 有 川 真 史
雑誌: 会報委員長 市 村 篤

誕 生 祝

中村 栄治君(昭和31年12月27日生)

昨年67歳は、怪我と病気に明け暮れた1年でした。

4月にウォーキング中、後ろを向いた拍子に緩い傾斜地にある溝蓋に足が引っ掛かり転倒、顔面を強打し出血、救急車を呼んでもらい五島病院へ直行。

8月には、左脚の大動脈が狭くなっていたので拡張手術。一昨年の12月頃からウォーキングの際、少し歩いたら左脚ふくらはぎが痛むので血管造影をしたら、左脚の大動脈が狭くなっていました。皆さんの中で、ふくらはぎに異常を感じたら検査をお勧めします。8月8日から10日まで入院し、五島に帰って来たのですが、その後、左脚付け根を中心に内出血を起こし、13日に手術した病院に連絡したら14日と15日は医者が休みとのことで、急きょ14日に五島のかかりつけの医者に診てもらい事なきを得ました。

10月18日朝5時ごろ、腹がゴロゴロなるので下痢かなと思いトイレに行ったら下血でした。24日に退院したのですが、ベッドで横になっている時はたいしたことはないのですが、座ると気を失いそうで気持ちの悪い思いをしました。普通は15ぐらいあるヘモグロビン値が、入院中8.2まで下がりました。数値1が約200ミリリットルとのことで、勿体ないことに約1.3リットルの血液を無駄にしていきました。ちなみに体重60kgの人で、1日に僅か38ミリリットルの血液しか作れないそうです。数値が7台になったら、命にかかわることでした。生涯初の輸血もしました。

昨年は、あまり良いことがなかったですが、しぶとく生きていますので、今年はきっと良いことがあると思います。終活ではありませんが、ロータリークラブへの寄付も頑張りたいと思います。

今日は誕生日祝い、ありがとうございました。



会長の時間

会長 片山 雅文君

皆様、新年あけましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、健やかな年始を迎えられたことと存じます。

昨年は、柳田副会長、有川幹事、並びに理事・役員・会員の皆様のご指導とご協力のお陰で、無事に上半期を終えることが出来ました。下半期も全力で頑張ってお参りますので、会員の皆様方のご指導、ご協力をお願い申し上げます。

私は年末年始、福岡にいる息子のところへ行き、家族で過ごしてきました。初詣は福岡東区にある筥松神社へ2時間並んで参拝してきました。

とにかく、どこへ行くにも年末年始の人集りで、くたびれながらも五島では味わえない時間を過ごしてきました。楽しい時はあっという間に過ぎ、年明け4日に弊社安全祈願祭、はたちの集い、新年祝賀交歓会へ出席のため、当日の午前4時に福岡を出て朝一のJFで五島に帰ってきました。着くなりバタバタで安全祈願祭を行い、午後2時から五島市主催の「はたちの集い」が福江文化会館で開催され、今年から五島市全土の新成人が同じ会場に集まっての開催に出席し、「はたち文庫」への寄付を届けてまいりました。

続いて16時から、福江商工会議所主催の新年祝賀交歓会が当カンパーナホテルで開催され、出席して参りました。会場ではロータリーメンバーも多数見えており、終了後は数名で会場を後にし、家に帰ってきたのは午前様でした。

5日は休日最終日で、消防出初式予行練習が午後からのため、午前中は前日の寝不足を取り戻すつもりで昼まで寝る予定でしたが、朝、消防係からの電話で起こされ、行方不明者捜索以来の連絡でした。結局、寝不足のまま本署へ出向き、依頼者から調書を取り終わり次第捜索が始まりました。消防では原則、捜索は3日間となっており、結果3日間で見つけることが出来ず残念でしたが、捜索に当たってくれた消防団員の皆様には大変感謝しております。

年末から年始にかけて国外では飛行機事故、地震、紛争で多くの命が奪われ、悲しい出来事が続いています。

今年は、今後このような事が起こらないよう全世界が平和になるように祈りながら、会長の時間を終わります。

幹事報告

幹事 有川 真史君

【当クラブ関係】

1. 本日の例会終了後に第7回定例理事会を開催致しますので、理事役員の皆様はご出席頂きますよう宜しくお願い致します。
2. 次週1月17日（金）の例会は、クラブ定款第7条第1節d項により休会と致しますので、次回例会は1月24日（金）となります。また、例会終了後に第3回クラブ協議会を開催します。上半期の報告と下半期の計画を発表していただきますので、各理事・委員長の皆さんは準備の方をお願い致します。当日、欠席される場合は代理の方による発表をお願い致します。
3. 明日の1月11日（土）に、プラザ大村にて「アクションプラン（行動計画）セミナー」が開催されますので、会を代表して片山会長が出席をされます。

【地区関係】

1. ガバナー事務所より「職業奉仕月間リソース」のご案内が届いております。
2. ガバナー事務所より「補助金管理セミナー」のご案内が届いております。
3. 令和7年1月のロータリーレートは、1ドル＝157円です。

委員会報告

出席報告

- ◆ 1月10日（免除(a)欠席者）
植松 郁雄君 中村 博義君
- ◆ 1月10日欠席者
神之浦文彦君 小畑 和男君 才津 喜彦君
橋本 武敏君 松岡 孝博君 山下 克己君
山口 裕之君 宮脇 秀至君 森 正明君
市村 篤史君 野崎 薫君 村田 修君

親睦委員会

スマイル報告

- ◇張本 民雄君 本日の卓話ががんばります。
- ◇中村 栄治君 誕生の祝い、ありがとうございます。
- ◇吉田 泰之君 寺澤さん、スマイル会優勝おめでとうございます。
- ◇寺澤 信義君 1月のスマイル会優勝しました。
- ◇片山 雅文君 皆様、新年明けましておめでとうございます。
- ◇柳田 靖夫君 //
- ◇戸田 博之君 //
- ◇平村 和弘君 //
- ◇西上裕一郎君 //
- ◇清瀧 誠司君 中村栄治さん、誕生日おめでとうございます。
- ◇山下 実君 //
- ◇山里 一郎君 //
- ◇浅野 謙君 //
- ◇有川 真史君 張本民雄さん、本日の卓話よろしくお祈りします。
- ◇坂井 成光君 //
- ◇井上 貴之君 //

合計 17,000円

通算合計 327,000円

部内卓話

「職業奉仕月間卓話」

張本 民雄君



皆様こんにちは…そして、新年明けましておめでとうございます。

1月はロータリー職業奉仕強化月間でございますので、職業奉仕委員長として卓話をさせていただきます。

初めに、皆様方はロータリーの職業奉仕月間をどのようにとらえていますか？職業奉仕をする月間なのか？それとも職業奉仕を理解する月間なのか？色々な考え方が出来ると思いますが、私は「職業奉仕を理解する月間である」と思います。

何故なら、職業奉仕は一年365日、日常的に行うものであって、決して期間を決めて行うものではないからです。

まずは、そのことをご理解頂きたいと思います。

さて、皆様方もご存知の通り、ロータリーの奉仕プロジェクトには、五つの大きな奉仕活動が掲げられています。クラブ奉仕・社会奉仕・国際奉仕・青少年奉仕、そして職業奉仕です。

一般的に〇〇奉仕といえば、受益者が〇〇である、という考え方になります。ですから、クラブ奉仕とは受益者がクラブということですので、所属しているクラブが利益になるような奉仕となります。

同じように、社会奉仕は私達の住んでいる地域社会が…、国際奉仕は日本以外の国と地域が…、青少年奉仕は12歳から30歳までの若者が…、職業奉仕は自分の職業が…、利益を得るような奉仕ということになります。

奉仕ですし、自分がするものですから対象が自分以外なら分かりますが、ロータリーでは職業奉仕を最も重要な奉仕と位置付けています。

そこで、本日は強化月間として、職業奉仕の基本的な考え方をお話しさせていただきます。

ロータリークラブ 定款 第5条 目的 には、「意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。」という言葉で始まり、付帯事項の第2項に、「職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること」と、記されています。

これは、ロータリーの根幹が職業奉仕にあり、職業奉仕の究極の目標が、「倫理基準遵守」の運動であることを意味しています。

職業奉仕という考え方は、他の多くの奉仕団体にはないロータリー特有の主義主張で、いわばロータリーの金看板と言われています。

言い換えれば、ロータリーのロータリーたる所以は、この職業奉仕という考え方があるからだ、と言われるくらい、とても大事な奉仕理念です。

ここで、職業・仕事を表す言葉を英語の辞書で引いてみると「Job・Work・Trade・Business・Employment・Occupation・Profession・Vocation・Calling」等があります。

その中で、ロータリーが選んだ職業という単語は「Vocation」で、ロータリーの職業奉仕は英語でVocational Service と言います。

職業Vocationと奉仕Serviceとを結び合わせた、ロータリーの専用用語です。

従来、ロータリークラブの会員は職業分類に基づいて入会していましたから、当然、職業を持っています。

Vocationは「天職・使命」という意味ですから、ロータリーではその使命に生きながらServiceをするということです。

また、Vocationという言葉は、Voice「神の声」からきていますし、Vocational Serviceという時のServiceには、「神に仕える・礼拝する」という意味がありますから、Vocational Service とは、「神の声に身を捧げる」ということになります。

このように考えると、ロータリーでいう「Vocational Service」は、平準的な倫理基準を更に一步高めたものとして認識されなければならないと思います。

自分のひもじさを我慢して、先ず他者に奉仕することを喜びとするものなのです。

このような根底の考え方を理解して、先程の「職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること」という文章を読んで頂くと、少し解るような気がします。

さらに、もっと簡単にいうとロータリーでは「職業を通じて社会に奉仕するのが、職業奉仕である」となります。

しかし、世の中の職業で社会に貢献しない職業、社会と何ら関係のない職業なんてあるのでしょうか？

ピーター・ドラッカーも、「社会のニード（必要）に従ってあるのが職業だ。社会のニードの無いところに職業があるはずがない」と言っています。

昔から、どんな職業だろうと職業である限りは、みんな社会に貢献しているのは当然のことだと思います。

ここで、ロータリーでいう職業奉仕の意味を考えてみたいと思います。

人間は、誰でも初めのうちは自分のことしか考えない、他人のことは関係ないという「Self（自己）」の時代から、次は自分のことばかり考えるのは、かえって自分のためにならない、他人と協調の方が自分のためでもあるということに気が付いてくる。

「Fellowship（仲間）」の時代に入り、更に他人と仲良くするだけでは共同社会の進歩はない、むしろ積極的に「他人に奉仕することこそ、世の中を明るく豊かにする所以であることに気づく」、「Service（奉仕）」の時代に入ると言われています。

ロータリーも、初めはシカゴの市民生活が余りにも「Self」だけのすさまじいものだったことから、この「Fellowship」の段階から始まり、やがてそれだけでは、足りないと感じて、いわゆる「Service」の時代に入って行きました。

職業についても、全く同じ考え方が出来ます。先ず、ロータリー精神をもって経営され、社会に迷惑を掛けないばかりでなく、進んでそのお役に立つよう配慮しなくてはなりません。

ただ、職業には人格がありませんから、それに人格をつけるとすれば、その企業をやっている経営者ということになります。

経営者が自分の人格を正しくすることと同じように、企業の経営を正しい姿勢で行うということになります。

それは、「ロータリーの精神」「奉仕の精神」を持ってやるということです。別の言葉で言えば、「The Four-Way Test（四つのテスト）」の精神を汲み入れて、企業の道徳的基準を高め、その職業を通じて社会に貢献をする。

更に、この信條を同業者、あるいは友人達にも広めるということです。そういうふうにしていて、職業を通じて社会に奉仕をするのです。

つまり、製品を作るなら、それを使う人の身になって、或いは世の中にプラスになるものはないか？というふうに考えるということです。

言い換えると、「ロータリーでいう職業奉仕」は、自分の職業に対し「誇りと情熱」を持って、その経営には最大級の努力を払い、そしてその方針は単なる金儲けばかりを目的とするのではなく、所謂ロータリー精神、奉仕の精神で、或いは「The Four-Way Test」の精神を汲み入れて、企業の道徳的基準を高め、その職業を通じて社会に貢献し、更に、この信條を同業者、或いは友人達にも広めるということです。

そういうことで先ず第一に、我々は自分の職業に対して「誇り」を持たなければなりません。

次に、誇りに対する「責任」が出てきます。そして、さらに誇りや責任だけでは事業は発展しません。そこには当然、「事業経営の努力」が必要になってきます。

その基本となる考えをまとめたのが、「四つの

テスト」となります。ロータリーでは1915年に、職業人としてのロータリアンの心構えを倫理基準として作られた「ロータリーの道徳律」がありました。これは、ロータリアンの職業上の倫理観を成文化したものです。

それを誰にでも解るように、簡潔かつ的確にまとめたものが、ハーバート・テラーが1932年に作成した「四つのテスト」です。

「四つのテスト」は、簡潔かつ的確な職業奉仕の基本であると言えます。

一言でいうと、職業奉仕とは「自分の毎日やることを、四つのテストに照らして、一生懸命やる、正しくやる。」ということになります。これほど簡単で、これほど手近に出来る奉仕はありませんが、いざ実践するとなると、とても難しいことでもあります。

そして1911年、アーサー・フレデリック・ジェル-tonは、「取引というものは、両当事者間に精神的満足がなければ、安定した長期の利潤を確保できない。倫理性を持った商行為だけが、信用という無形の財産を築き、それによって事業が繁栄するのだ。」

「また、仮に非道徳な方法で物質的に成功したとしても、それでその人が精神的に満足出来るであろうか？精神的な満足のない成功は成功ではない。何故なら人生における成功、不成功の価値判断は、偏に精神の満足度にあるからだ。」と述べています。

「成功」という山に登る時、裏の道を通して山の頂上に登り、その傍ら奉仕をする人がいるかも知れません。

或いは、法に触れない範囲であくどい商売をして大儲けをし、事業を発展させて有名になり、社会福祉に寄附をする人もいるかも知れません。

しかし、ロータリーではそういう奉仕は望んでいません。

人の価値というものは結果ではなく、その人生過程（プロセス）にあります。その生涯を、どのように生きたかということです。

ロータリーから見た時に、邪道と思われる道を通らず、ひたすら正道である奉仕の道を登って、成功という山の頂上に出ること…そこまで完結して、初めてロータリーでいう職業奉仕が出来たということになります。

ロータリアンには、定年も卒業もありません。ロータリー運動を機会に始められた人生真理の探究は、より高い次元へ向かってその内容の質を高めながら、終生続けられなければならないのです。

最後に、お配りしている「ロータリアンの行動規範」と「職業奉仕 四つの反省」についてお話し致します。

この「ロータリアンの行動規範」は、先程述べた「ロータリーの道徳律」を、時代に合わせて変化させてきたもので、2019年11月にR I 理事会で採択されたものです。

そして、「職業奉仕 四つの反省」は、「The Rotarian 1972年9月号に掲載された、職業奉仕とは何ですか？」という英文のコラムを、前原勝樹パストガバナーが翻訳されたのが始まりと言われています。これは四つの反省となっていますが、読んでみると実質11の反省項目が書かれています。

これまで余り知られていませんでしたが、近年、日の目を見て、良く話題に上がるようになりました。

「ロータリアンの行動規範」と「職業奉仕 四つの反省」は、「四つのテスト」と共にロータリアンにとって職業奉仕の行動規範となるものから、皆様方の職場に掲示をされてご利用下さい。

そして今月の27日は、ロータリークラブの創設者「ポール・ハリス」の没78年目の祥月命日を迎えます。

ロータリークラブでは、「毎年1月27日を含む1週間をポール・ハリスを含む全ての物故ロータリアン、並びにロータリー家族の冥福を祈り、生前の貢献を記念する週間、ロータリー追悼週間」として定めていますので、ポール・ハリスに、そして福江ロータリークラブに関係された物故会員・並びに物故遺族に対し、心からのご冥福をお祈りし、報恩感謝を申し上げ、職業奉仕強化月間の卓話を締めさせていただきます。

ご静聴、ありがとうございました。

ロータリアンの行動規範

ロータリアンとして、私は以下のよう行動する。

1. 個人として、また事業において、高潔さと高い倫理基準をもって行動する。
2. 取引のすべてにおいて公正に努め、相手とその職業に対して尊重の念をもって接する。
3. 自分の職業スキルを生かして、若い人びとを導き、特別なニーズを抱える人びとを助け、地域社会や世界中の人びとの生活の質を高める。
4. ロータリーやほかのロータリアンの評判を落とすような言動は避ける。
5. ロータリーの会合、行事、および活動においてハラスメントのない環境を維持することを支援し、ハラスメントの疑いがあれば報告し、ハラスメントを報告した人への報復が起こらないよう確認する。



職業奉仕 四つの反省

1. 顧客に対して
最上の品質、最高のサービスを提供しているか。
常に、正直と親切を旨としているか。
2. 従業員に対して
彼らの長所を十分認め、かつ買っているか。
安全で快適な職場を確保しているか。
苦情に対して公正な態度で対処しているか。
自ら誠実、正直、善意の手本を示しているか。
3. 競争者に対して
公正な態度で接しているか。
あなたは行動をもって誠実を肝銘させているか。
彼らと共に事業水準の高揚につとめているか。
4. 協力者に対して
公正で友情に満ちた関係を保っているか。
いつも支払いをよくしているか。



四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- 1 真実か どうか
- 2 みんなに公平か
- 3 好意と友情を
深めるか
- 4 みんなのために
なるか どうか